

新型コロナウイルス感染症対策
拭き取り消毒実施マニュアル
事業所参考用

2021年2月
渋谷区保健所

このマニュアルは、新型コロナウイルス感染症の感染者が使用した場所の消毒を行う際の作業手順についてまとめています。

新型コロナウイルス感染症は、ウイルスが付着した手で目鼻口に触れることで感染します。消毒作業を行うのは、手が触れる可能性がある場所を消毒し、手が汚染されないようにするためです。こまめな手洗いが最も重要で、動線上のアルコール消毒剤の設置も有効です。

感染予防対策や消毒作業を行うときに、このマニュアルを活用してください。

消毒準備

<作業前>

- 消毒作業に必要な物品を準備します。
- 消毒作業をする際は、マスクとゴム手袋(使い捨てできるもの)を着用してください。

感染対策物品について

- マスク、ゴム手袋(使い捨てできるもの)、消毒剤、ペーパータオル、ごみ袋など。
- 消毒剤は、次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)または消毒用エタノール(アルコール成分70%以上)を準備します。
- 希釈した次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、使い切るようにしてください。
- 次亜塩素酸ナトリウムは、消毒用エタノールと混ぜると危険なので、取扱いには十分注意してください。
- 金属や布は、次亜塩素酸ナトリウムで漂白・腐食する可能性があります。(消毒用エタノールを使用しましょう。)
- 消毒剤等、使用する物品はそれぞれ「使用上、取扱い上の注意事項」をよく読んで使用してください。
- 備蓄する場合、成分70%以上のエタノールは、危険物の扱いとなり貯蔵容量に制限があります。詳しくは管轄の消防署(渋谷区内は渋谷消防署)に相談してください。

作業中の注意事項

<作業中>

★作業開始から終了後の手洗いが終わるまで、手で目鼻口を触れないように注意します。

- 窓を開けて、十分に換気を行います。
- 作業中は、作業員以外の入室を制限するなど、注意をします。
- 目視できる汚れがある時は、事前に拭き取ります。
- 作業はエリアの奥から入り口に向かって順次実施するなど、拭き取り(清拭)漏れに注意します。
- 拭き取り(清拭)は右から左など、一定方向におこないます。
- 作業中は拭き取り用のペーパータオルが常に消毒液で十分に湿潤しているか確認してください。
- ペーパータオルはこまめに面を変えて使い、適宜、新しいものに交換してください。

感染者の行動範囲にある机上、備品等の消毒

拭き取り作業は、感染者の席や行動範囲から、感染者が手を触れた可能性のある場所を対象とし、隙間なく実施してください。

【作業範囲】

- 感染者本人に対し、感染可能期間に出勤した日の行動履歴を確認し、消毒の作業範囲を確定します。

【机上・備品】

★机の上は、普段から不要なものを置かず整理をしておくこと、拭き取りの対象物が減ります。

- ペーパータオルに薬剤を含ませて、一定方向に拭き取ります。
- 感染者が触れた恐れのある備品、及び飛沫(唾液など)が付着する可能性のある部分を拭き取ります。机の上、引出しの取手、椅子、パソコン、キーボード、電話機、ペンや文具類も拭き取ります。
- 紙類は消毒することができません。

【床・天井】

- 床は、手が触れる可能性がなければ、基本的に消毒は不要です。
- 天井等は患者の体液(吐物など)が付着していない限り作業は必要ありません。

感染者の動線上の消毒

感染者が触れたか、触れた可能性が高い場所や什器等、本人の動線が対象となります。

○想定される範囲

共用部の手すり、トイレ、ロッカー、休憩室、給湯室、自動販売機、エレベーター、各種スイッチ等。感染者の動線上は、飛沫が飛んでいる可能性や手が触れた可能性がある場所を拭き取ります。

(動線上の作業個所例)



消毒終了後の注意事項

<終了後>

○作業中に着用したマスク・手袋、使用したペーパータオルなどは、作業終了後速やかにごみ袋に収納し、袋口をしっかりと結び廃棄します。(中身を第三者が触れることがないようにしてください。)

○マスク、ゴム手袋を取り外すときは、外側(汚染された面)が自分の手や指、体などに触れないよう、慎重に取り外します。

★取り外した後、石鹼で手洗い、もしくは消毒用アルコールで手指消毒を行ってください。

○消毒用アルコールは、短期間のうちに使い切るようにしてください。(開封後の期限は必要に応じてメーカーに確認してください)

○作業が完了したスペースは通常通りの使用が可能となります。消毒を担当した方は引続き勤務可能です。

★消毒作業後は必ず石鹼で手洗い

もしくは消毒用アルコールで手指消毒を行ってください。